

2

もっと知りたいあなたに 平成30年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。つまり、3つのお財布があって、お金の出し入れをしています。



1,385億
5,300万円

一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。
平成30年度の当初予算の額は、1,385億5,300万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など7つの特別会計があります。

760億
6,025万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費……………29億6,401万円
- 墓園事業費……………5億7,762万円
- 国民健康保険事業費……………389億7,174万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費……………5億8,048万円
- 湘南台駐車場事業費……………6,098万円
- 介護保険事業費……………273億275万円
- 後期高齢者医療事業費……………56億267万円

428億
7,892万円

公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

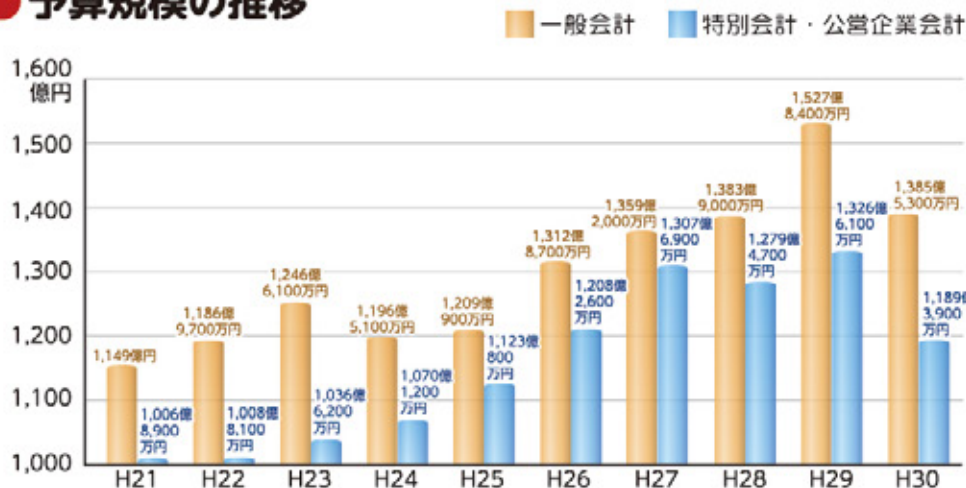
民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。藤沢市には下水道と市民病院の2つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費……………205億6,717万円
- 市民病院事業……………223億1,175万円



全会計 **2,574億9,217万円**

● 予算規模の推移



平成30年度当初予算では、厳しい財政状況を踏まえ、より一層の歳出削減・歳入確保に努めました。一般会計の当初予算は、市役所本庁舎整備事業の終了などにより、前年度の当初予算に比べ減少しています。特別会計・公営企業会計の当初予算は、国民健康保険事業の制度改正や下水道事業費における建設改良費の減などにより、前年度の当初予算に比べ減となっています。

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの？

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成30年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
935億217万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



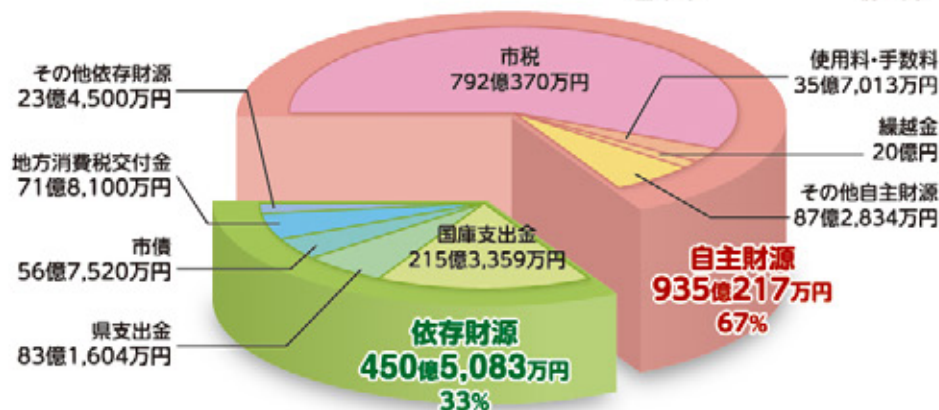
依存財源
450億5,083万円

道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



● 平成30年度 歳入予算の内訳

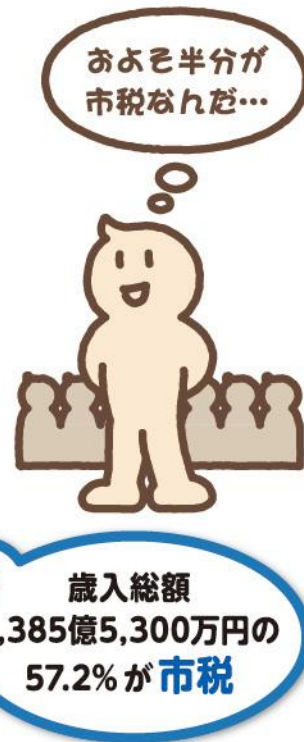
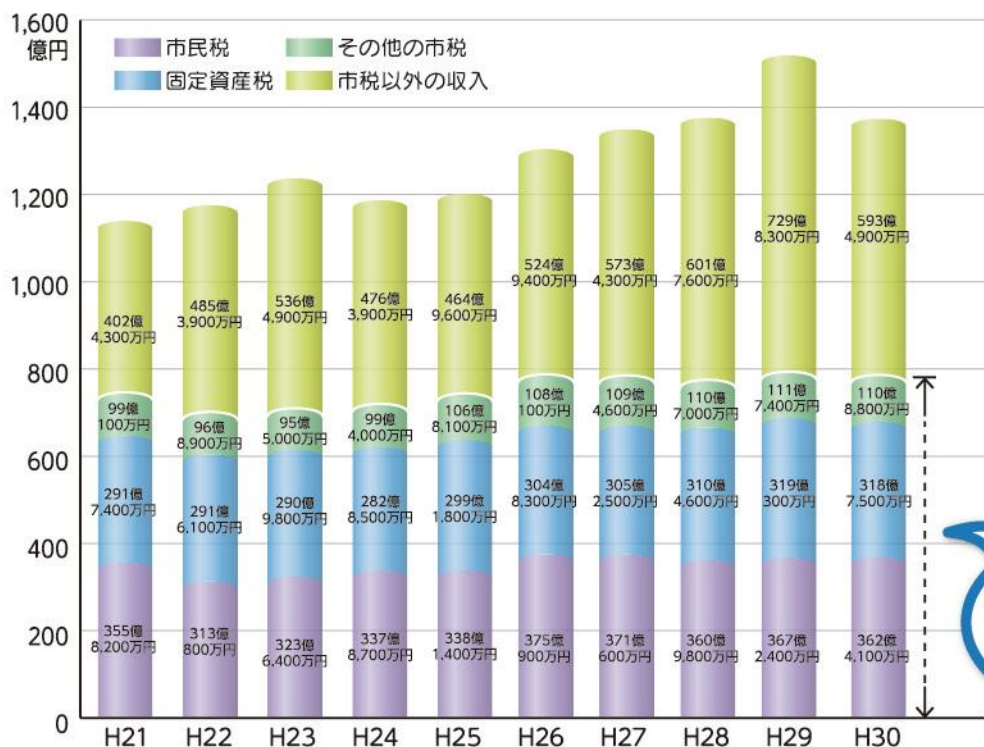
藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。





歳入のうち、中心となる市税についてもう少し詳しく見てみましょう。

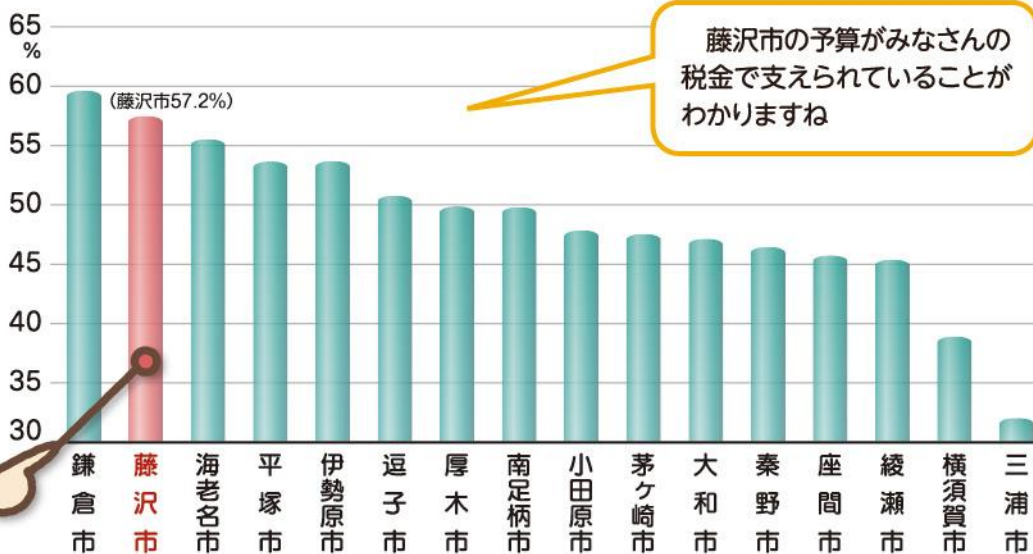
● 一般会計歳入予算に占める市税の推移



平成30年度予算の市税収入は、法人市民税や固定資産税の減額を見込み、前年度比で約6億円減の約792億円とありますが、基金繰入金や地方債の減額などにより、歳入全体に対する市税の割合は増加しました。

● 歳入予算に占める市税の割合(県内16市との比較)

藤沢市は
県内16市中
第2位です



藤沢市の予算がみなさんの税金で支えられていることがわかりますね



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの？

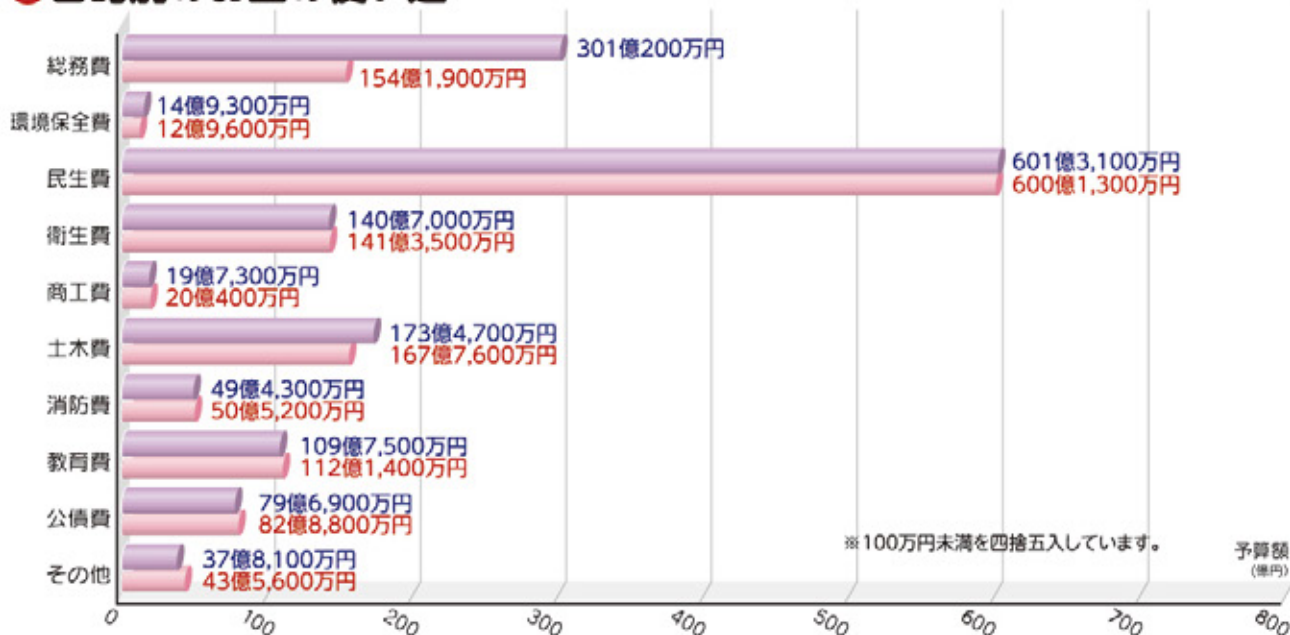
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、子育てや福祉のほか、道路や学校などを作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金を使っています。



● 目的別のお金の使い道

■ 平成29年度 ■ 平成30年度



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)やその他の社会保障施策に使われています。

4 家計簿に例えて見てみると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられませんが、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	792億 370万円	人件費	265億4,243万円
使用料、手数料など	142億9,846万円	扶助費	393億5,368万円
【自主財源合計】	935億 216万円	物件費	242億1,211万円
国・県支出金など	393億7,564万円	投資的経費・維持補修費	130億4,022万円
市債の発行	56億7,520万円	公債費	82億8,615万円
【依存財源合計】	450億5,084万円	繰出金・補助費など	245億1,620万円
		積立金・貸付金など	26億 221万円
収入の合計	1,385億5,300万円	支出の合計	1,385億5,300万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収 入		支 出	
お父さんの給料	23万4,000円	食 費	7万8,000円
お母さんのパート代	4万2,000円	医療費・保育料	11万6,000円
【給料などの合計】	27万6,000円	光熱水費や被服代	7万2,000円
その他臨時収入	11万7,000円	家の増築・修理、家財購入	3万9,000円
銀行からの借入	1万7,000円	住宅ローン返済	2万4,000円
【臨時収入の合計】	13万4,000円	子どもへの仕送り	7万3,000円
		貯 金	8,000円
収入の合計	41万円	支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 656億1,417万円 家計簿に例えると 236万8,000円
 預貯金の残高(基金残高) 190億 590万円 家計簿に例えると 68万6,000円

※平成28年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で約67%を占めています。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

